

矢沢永吉バンドでプロデビューしてから  
40年の河野康弘  
子どもたちに素敵な未来を  
プレゼントしたいと全力で演奏します。

**1.17** 2016  
**日**

1st ステージ開場11:30 開演12:30  
2ndステージ開場17:00 開演18:00  
ミュージックチャージ1,000円  
30%を「たかつき保養キャンプ」の運営費用に  
寄付いたします。  
※飲み物、食べ物は別料金です。1品以上のご注  
文をお願いします。

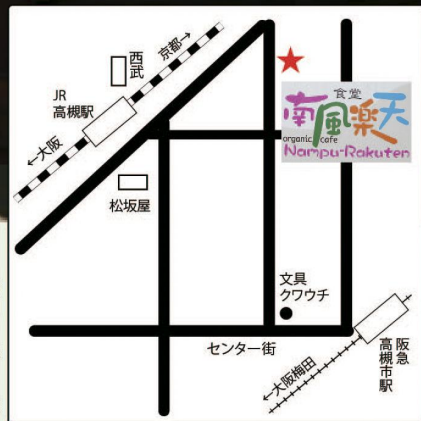
【会場】食堂**南風楽天**  
organic cafe Nanpu-Rakuten  
大阪府高槻市1-23ネオ常磐1F  
tel.fax:072-685-6395

## たかつき保養キャンプ応援ライブ 河野康弘ソロ

### ★応援ライブにむけて★

「子どもたちは宝物」です。  
原発事故が起こってしまった事実。  
放射能を撒き散らした事実。  
ウクライナの現状を見ると将来の日本が見えてきて、とても悲しい気持ちでいっぱいになります。  
私も日本人である以上この事故を起こしてしまった一人です。  
子どもたちに酷い現実をあたえてしまった一人です。  
この事実を受け止めて、子どもたちにステキな未来をプレゼントしたいと思い活動をしています。  
保養キャンプを開催するにあたり資金が必要です。  
放射能への関心が薄れて募金も集まらなくなっているのが現状です。  
そこで応援チャリティーライブをして資金を集めようと思いました。

ジャズピアニスト 河野康弘 東京⇒京都 避難



### ■保養キャンプとは■

東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、高濃度の放射能に汚染されてしまった地域に暮らしている  
子どもとその保護者の保養を目的として実施されるのが「保養キャンプ」です。ここでいう「保養」とは、少しの間  
でも放射能の不安が少ない生活を送ることで、心身のリフレッシュ・健康回復につなげるを言います。  
放射能は、生物の細胞を壊す働きを持っています。低線量でも日常的に放射能に晒され続けると「ただちに影  
響」はなくても、将来、健康被害が出る可能性が高くなります。  
ある一定期間(できれば1カ月以上と言われています)を放射線量の低い土地で過ごし、汚染されていない食  
べ物を食べることで、体内に蓄積した放射性物質を減らすことができ、免疫力回復につながります。  
また、外で遊ぶことを制限されるストレスから子どもたちの心からだを解放し、のびのびと遊ぶ時間を提供すること、おとなにとっては、些細なことにも放射能  
への不安を強いられる生活から離れ、ほっと一息ついたり、不安を語り合ったり、人間関係を広げたりする機会でもあります。

### ■チェルノブイリ事故があったウクライナの現実を知ってください

#### ①『低線量汚染地域からの報告—チェルノブイリ26年後の健康被害』より

2012年9月にNHKで放送されたドキュメンタリー番組の書籍版 NHK出版

ウクライナのニコスチンの市内は、年間0.5~1ミリシーベルトの放射線管理区域と年1~5ミ  
リシーベルトの移住権利区域が半分ずつ占めている。日本でも同程度の汚染地域は広く分布  
しており、年間0.5ミリシーベルト以上の汚染地域ならば1千万人以上が暮らしていると思わ  
れます。チェルノブイリから26年後のニコスチンの現状は、目をそらすことなく凝視すべきでし  
ょう。子どもたちの75%以上が何らかの疾患を抱えているという「現実」はあまりにも重すぎる。

#### ②ルボ・チェルノブイリ28年目の子どもたち 岩波書籍

「100%健康な子どもは一人もいません」ニコスチン第12学校校長の言葉。

チェルノブイリ原発事故後、体育の授業を健康診断の結果に応じて4つのグループに分け  
るようになった。

●上記二つのドキュメンタリー映像をYouTubeで見ることができます。

